

障がいのある人とない人のスポーツ・レクリエーション交流事業

高野 千春

障がい者スポーツは、リハビリテーションから始まり、社会参加の手段として、また、生涯を通じて楽しむスポーツとして発展してきた。2011年に制定されたスポーツ基本法では、「障害者の自主的かつ積極的なスポーツ活動を推進する」との理念が掲げられ、翌年に策定されたスポーツ基本計画においては、「年齢や性別、障害等を問わず、広く人々が、関心、適性等に応じてスポーツに参画することができる環境を整備すること」が政策課題とされている。また、2014年度からは、スポーツ振興の観点から行う障がい者スポーツに関する事業が、厚生労働省から文部科学省へ移管され、予算も大幅に増えた。

しかし、笹川スポーツ財団の調査（2014年）によると、障がい児・者の約半数が過去1年間にスポーツ・レクリエーションを実施しておらず、週1回以上のスポーツ実施率も18.2%と、成人を対象とした世論調査での47.5%に比べかなり低い。「体力がない」「金銭的な余裕がない」「仲間がない」「交通手段・移動手段がない」が主な理由として挙げられているが、スポーツ・レクリエーションに無関心な人が48.7%と多く、障がいのある人のスポーツの推進はまだ道半ばである。その一方では、障がい児・者がスポーツ・レクリエーションを実施する主な目的として「健康の維持増進」「気分転換・ストレス解消」「楽しみ」があげられ、世論調査と同様の傾向を示している。

日本レクリエーション協会は、2012年度から3年間にわたり「障がいのある人とない人のスポーツ・レクリエーション交流事業（文部科学省委託事業）」に取り組んでいる。この事業は、「身近な地域で行われ」「共に楽しむ仲間と出会え」「健康の維持増進に役立ち、気分転換やストレス解消になる楽しいスポーツ・レクリエーション活動ができる」場をつくり継続的に展開することが、障がいのあるなしにかかわらず生涯スポーツの推進に有効だという考えにもとづいて始まった。

本学は今年度、この交流事業のモデルケースとして、交流の場の開催に取り組んだ。地域の方々

と学生に呼びかけて、障がいのある人とない人が集い、スポーツ・レクリエーション活動の楽しさを実感できるイベントを実施した。

イベントの企画・準備

障がいのあるなしにかかわらず一緒に楽しめるイベント内容について、頭の中で考えるだけではよい企画は浮かばない。そこで、研究会の授業時間や空き時間を利用し、近隣にある「こどもデイサービスかのん」に通っている障がいのある子ども達に大学に遊びに来てもらい、生涯スポーツやレクリエーションに関心のある学生達と遊ぶことから取り組んだ（写真1, 2, 3）。障がいのある子ども達とスポーツや簡単なゲームで交流を深めていくなかで、今回のイベントでは、誰でも簡単に楽しめる『ラダーゲッター』というゲームを実施することに決定した。また、今回の「スポーツ・レクリエーション活動の楽しさを実感できるイベント」を、多くの地域の方々に知っていただくために、11月の大学祭に合わせて実施することにした。

久喜市とその周辺障がい児・者が、多くの人と関わり合いながら成長し、地域の中で普通に暮らし続けられる社会を目指して活動している「NPO法人ハローハンディキャップ・タイム」（障がい児を持つ親たちが運営する組織）の方々にもご協力いただき、勉強会や打合せの際には、障がいのある人の視点から細やかなアドバイスをいただいた。また、地域の方々へ広報するにあたり、加須市社会福祉協議会にもご協力いただいた。

イベント当日

大学祭の特別企画として、「ラダーゲッター大会」を2日間（1日1時間）実施したところ、参加者が延べ120名を超える盛況なイベントとなった。障がいの有無や老若男女を問わず、初めて出会った人でもその場に居合わせた人達で即席チームを作るというルールでゲームを進めたが、時に大きな笑い声や歓声が響き、誰もがゲームを楽しんだ

(写真4). 来年もまた実施して欲しいという声が多く、このようなイベントをいろいろな形で地域に提供していきたい。

今後も、スポーツ・レクリエーションを「楽しむ」ことを重視したイベントを継続的に開くことで、障がいのあるなしにかかわらない仲間作りを進めていきたいと考える。また、その中から積極

的に運営することを楽しむ参加者が出てくることに期待したい。このように、集いに参加する全ての人々がスポーツ・レクリエーションを楽しみ、交流することを楽しみ、そして積極的に参画することを楽しむ地域住民の輪ができるために、少しでも平成国際大学が貢献していければ幸いである。



写真1 ハンカチ落としで遊ぶ

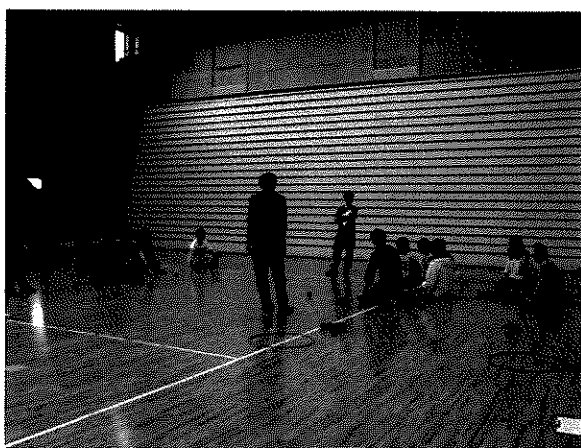


写真2 ペタンクのボールで遊ぶ

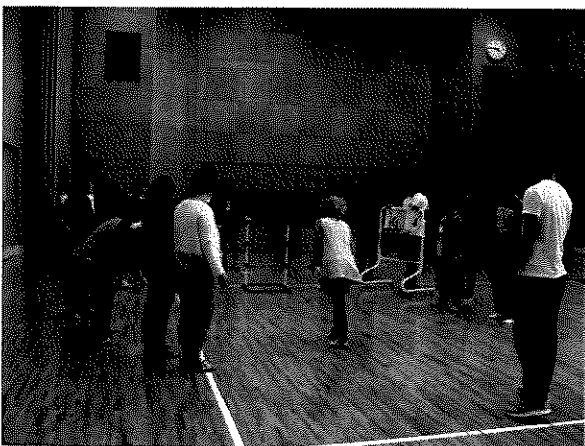


写真3 ラダーゲッターで遊ぶ



写真4 大学祭当日の様子